

Nougyou Nounou

## いしのまきNN通信



トヤケ森から望む石巻管内の風景

「いしのまきNN通信」は、石巻地域の農業農村整備事業に関連する活動等を広くお知らせすることを目的に、年3回程度発行しています。掲載希望の情報等がありましたら農村振興班までご一報ください。今後ともよろしくお祈いします。

## 石巻市大川地区 針岡工区の農地災害復旧除塩工事開始



第25号の目次:



▲安全祈願祭の様子

平成24年10月25日、東日本大震災の津波により大きな被害を受けた石巻市大川地区における針岡工区の農地災害復旧除塩工事の開始にあたり、安全祈願祭が開催され、関係者等、約20名が参加しました。

安全祈願祭では、神事が執り行われ、工事の安全を祈願しました。

石巻市大川地区 針岡工区の農地災害復旧除塩工事開始	1
石地区土地改良区理事長会が農林水産省を訪問し 農地復旧・復興等の状況説明を行いました	2
県営ほ場整備事業東小松地区でクリーン活動を実施	3
東松島市新町・中下地区で福幸祭が開催されました	3
東松島市宮戸地区 農地海岸堤防災害復旧工事の安全祈願祭	4
宇都宮大学農学部現地調査	5
鹿又、広淵沼、大曲、西矢本地区営農・集積合同研修会	6
東部管内 東日本大震災の復旧・復興の概要について	7
「石巻圏域の農業農村整備2013-2014」を作成 プッチャラム	8

針岡工区は、大川地区の上流部に位置し、東日本大震災の津波により大きな被害を受けましたが、早期に干陸化を行い、平成24年度には農地の災害復旧工事が着工されました。当初、針岡工区の農地災害復旧除塩工事は、平成25年春に全域での営農再開を目指していましたが、除塩用水の用水源である富士沼の塩分濃度が高く、富士沼の用水による除塩作業は、今年5月から7月頃を予定しております。そのような状況の中、今年春の営農再開については、地下水や沢水などで除塩用水が確保できる農地の約14ha区域において、水稻作付を行う予定としております。大川地区にとっては、震災後、初めての水稻作付となる予定です。

引き続き、塩害対策等の検討を重ねながら、一日も早い営農再開を目指していきます。

## 石巻市大川地区 針岡工区施工エリア



## 石巻地区土地改良区理事長会が農林水産省を訪問し 農地復旧・復興等の状況説明を行いました

平成24年10月23日、石巻地区土地改良区理事長会は農林水産省を訪問し、農業農村整備や農地復旧・復興等の状況説明や復興米の試食提供を行いました。これは平成24年10月22日から26日までの期間、農林水産省「消費者の部屋」において県農村振興課主催の「みやぎの農業・農村 復旧・復興パネル展」に合わせて行われたものです。

「みやぎの農業・農村 復旧・復興パネル展」は、県内の農業農村に係る被災状況や復旧状況等についてパネル展示を行ったもので、当日は、県内の農業農村整備や農地復旧・復興等の状況説明とともに、郡司農林水産大臣への復興米の提供や見学者への試食提供が行われました。

提供された復興米は、東日本大震災による津波被害を受けた農地において、災害復旧工事が完了し、平成24年に営農再開された東松島市の水田において収穫されたものです。郡司農林水産大臣は、「今後とも農地復旧が進み、以前の生活が戻り、農業者の笑顔が増えていくよう願っています」と述べ、来年に向けさらなる努力を続けてほしい旨の激励の言葉がありました。

また、石巻地域の復旧・復興等の状況説明や感謝の気持ちをお伝えするため、地元選出の国会議員や復興大臣への御礼訪問も行われました。この訪問では、意見交換も行い貴重な話し合いの場となりました。



▲郡司農林水産大臣と石巻地区理事長会



▲ 河北新報 H24.10.24



◀ 復旧・復興等の状況説明の様子



▶ 会場の様子



▲安住衆議院議員への訪問



◀ 平野復興大臣への訪問



## 県営ほ場整備事業東小松地区でクリーン活動を実施

平成24年11月，県営ほ場整備事業東小松地区において，農地の区画整理工事に隣接する区域のクリーン活動が実施され，関係者等約20名が参加しました。

東小松地区は，現在，ほ場整備事業の農地区画整理工事を実施しており，クリーン活動はほ場整備と併せ農村環境に配慮した取り組みの一環として行われました。場所は東小松地区の三陸道沿い工事隣接区間で，以前より道路わきの雑草の草丈が伸び通行に支障がでていたことやゴミの投棄が問題となっていました。クリーン活動では水路の草刈りやゴミ拾いを行い，写真にあるようにたくさんのゴミが収集されました。当日は小雨の降る中での活動となりましたが，皆でゴミ拾いや草刈りに汗を流しました。

今後とも，ゴミの投棄が無くなり，きれいな農村環境が維持されることを願います。



▲収集したゴミ



▲参加者集合写真



▲クリーン活動の様子

## 東松島市新町・中下地区で福幸祭が開催されました

平成24年11月25日，東松島市新町・中下地区において，「有限会社アグリードなるせ」が主催した福幸祭が開催されました。

この地域は，東日本大震災の津波等により農地被害を受けましたが，いち早く農地の除塩作業等を行い，震災後，約1年で農地復旧を終え，平成24年にほとんどの農地で農作物の作付ができました。このような状況に対し，これまで支援，協力を頂いた方々に近況報告と感謝の意を伝えるため，「有限会社アグリードなるせ」が開催したものです。

当日は，新町・中下地区の仮設避難者や農家の方々が招待され，一般，関係者等を含め約200人が参加しました。福幸祭では，鳴瀬鼓心太鼓や歌謡ショーなどのイベントや，地元で採れた農産物の販売，除塩作業に使用した農機具の展示などが行われました。また，飲食コーナーでは新米おにぎりや焼きそば，殻つき焼き牡蠣などの無料飲食が行われ，大勢の参加者で賑わいました。



▲「(有)アグリードなるせ」阿部代表取締役あいさつ



▲農機具の展示



▲鳴瀬鼓心太鼓



# 東松島市宮戸地区 農地海岸堤防災害復旧工事の安全祈願祭

石巻管内津波浸水範囲概況図

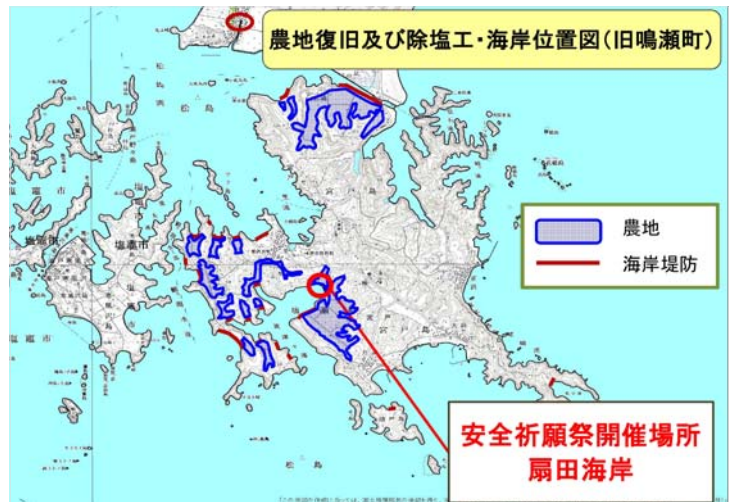


平成24年12月25日、東松島市宮戸地区において、東日本大震災で大きな被害を受けた農地海岸保全施設と背後農地の災害復旧工事着手にあたり安全祈願祭が開催され、市、県、工事関係者等約60人が出席しました。

安全祈願祭では、東松島市長、宮城県農林水産部長、工事施工会社の代表者による鍬入れの儀や、玉串奉奠などが執り行われ、工事の安全を祈願しました。阿部東松島市長は、「工事が進むことで宮戸地区が復興へ向けて一歩ずつ前進している姿が見えてくる」とあいさつしました。

本地区では、東日本大震災の津波により、ほぼ全域で農地が浸水しました。災害復旧工事では農地の早期作付けに向け、農地海岸保全施設の工事と合わせて農地復旧を行います。

平成24年度発注分の工事では、東松島市の農地海岸保全施設全22施設のうち16施設の復旧及び、それと一体的に復旧する農地53haの工事を施工します。仮設鋼矢板を打ち海水の流入を防いだ後、堤防の復旧と並行して堆積土砂の撤去や除塩作業を予定しています。



▲会場の様子



▲安全祈願祭の様子



▲鍬入れの様子



▲玉串奉奠



▲阿部東松島市長あいさつ



▲事業概要の説明



## 宇都宮大学農学部現地調査

平成25年2月15日、東日本大震災により大きな被害を受けた大曲地区において、宇都宮大学農学部の学生による現地調査が行われました。

この現地調査は、1月15日に宇都宮大学で行われた公開授業「震災復興と農村計画」での震災当時の様子や復旧・復興の現状と課題についての話題提供をきっかけに、宇都宮大学で実施している「被災地と大学の交流から始める“復幸再美”プロジェクト」の一環として実施されたものです。

当日は、震災後、約2年が経過した農地や大曲第二排水機場、定川仮締切工事現場などを視察するとともに、実際に現場で行われているEC測定（塩分濃度の簡易測定）を学生に実施してもらいました。EC測定は、津波被害を受けた農業用排水路等で行い、測定の結果、水稻の生育に影響を及ぼす数値を遥かに超える値を示すところもありました。

宇都宮大学水谷教授は、「本日の現地調査を通して、農学部の授業で学んでいることが、実際に、被災地の現場で実施され、役立っていることが実感できたと思います」と述べられました。

大曲地区では、平成24年度より農地の区画整理工事を行い、地区全体として3ヶ年の計画で、順次営農再開を目指していきます。



▲集合写真



▲現地調査の様子



▲概要説明の様子



▲大曲地区被災農地



▲EC測定の様子



◀EC測定の様子

公開授業「震災復興と農村計画」



## 鹿又・広渕沼・大曲・西矢本地区合同営農・農地集積研修会

平成25年3月4日から5日の2日間にわたり「鹿又・広渕沼・大曲・西矢本地区合同営農・農地集積研修会」が開催されました。この研修会は、大規模土地利用型経営の安定と発展による農地の集積を進めることをねらいとして、鹿又・広渕沼地区の営農組合、大曲地区の農業生産法人「株式会社 ぱるファーム大曲」、西矢本地区の震災からの営農再開を目指して法人の設立を検討している担い手などを対象に、河南矢本土地改良区が開催したものです。

視察先は、宮城県名取市の「有限会社 耕谷アグリサービス」です。設立までの経緯とその時の中心メンバーの苦勞、水稻・麦・大豆の土地利用型部門を中心として園芸部門を組み合わせた経営の展開、震災からの復興としてコットンプロジェクトへ参加したことなど、この会社が地域・自然との共生を目指し、土地利用型農業を実践することを理念としていることについて説明がありました。



▲「(有) 耕谷アグリサービス」ライスセンター視察の様子



▲ パイプハウスでのアスパラガス栽培の様子

その後、農用地利用改善組合と農業生産法人の代表者から話題提供があり、田面標高が低い地域における転作の取組方法として水田ゾーンや畑ゾーンを固定化した土地利用調整のあり方や地域の合意形成の進め方、大規模経営の安定と発展に向けた施設園芸の導入により地域雇用の創出による地域との共生など、それぞれが抱える問題点や課題について意見交換が行われました。

また、社団法人宮城県農業公社の真木理事長より、農業公社の事業展開についての説明、そして、古川農業試験場では、水稻直播栽培の導入により、春作業の労働力と資材不足の解消、秋の収穫適期が分散することで、水稻部門の規模拡大が期待できることについて、実際に水稻直播用播種機を見ながら説明を受けました。

本視察研修では、震災からの復興と担い手の営農再開、担い手組織の土地利用型部門と園芸部門での経営の安定と発展を進めるための貴重な意見交換・情報共有の場となりました。今後とも、各地域での担い手組織の位置づけや組織体制の明確化による農地集積の支援を進めてまいります。



▲ 検討会の様子



▲ 社団法人宮城県農業公社真木理事長講演の様子



▲ 古川農業試験場視察の様子



# 東部管内 東日本大震災の災害復旧・復興の概要について

県では、東日本大震災に係る農地・農業用施設等の復旧・復興のロードマップを見直し、平成25年2月8日に新たなロードマップを公表しました。

そのうちの東部管内分を紹介します。

## 1 農地・農業用施設等の復旧・復興の概要

東日本大震災に係る津波による災害に対処し、早期の営農再開を図るため、東部地方振興事務所では管内の被災市及び土地改良区からの要請を踏まえた計645件の災害査定を受け、376億円の復旧事業費が決定しました。

また、国は、東日本大震災に対処するための土地改良法の特例に関する法律（平成23年5月2日法律第43号）を施行し、農林水産省が直轄で2地区において事業を行うことになりました。

### ■管内の国直轄事業の概要

事業名	地区名	受益面積(ha)	総事業費(百万円)	備考
直轄災害復旧事業	河南	4,950	535	施設
直轄特定災害復旧事業	定川	635	3,250	施設

さらに、当所は被災市からの要請を踏まえ、東日本大震災復興交付金（農山漁村地域復興基盤総合整備事業）を活用し、まちづくりと調整しつつ、公共用地の創設や防災集団移転跡地の再編など土地利用の整序化とともに、大区画ほ場整備を中心とした農地の抜本的な再編整備を実施する予定です。

## 2 復旧・復興の工程と進捗状況

平成25年2月8日に発表した「東日本大震災に係る農地・農業用施設等の復旧復興のロードマップの見直し」では、前公表のロードマップを精査し、農地・農業用施設等については、平成25年度以降の工程を平成24年度までに可能な限り前倒しして実施する一方、一部の工区・施設について、平成26年度から27年度に実施する計画としています。

管内の農地の復旧対策が必要な面積は3,520haであり、平成24年度までに2,770haで復旧工事に着手しています。

また、震災による津波で被害を受けた農業用施設（排水機場）は27施設で、現時点では、そのうち13施設で着手しています。なお、応急復旧により、従前と比較し、約9割の排水能力を回復しています。

### ■管内の農地・農業用施設等の復旧・復興のロードマップ

工種	H23	H24	H25	H26	H27	備考
■農地（除塩含む）※1	<b>本復旧</b>					
面積：3,520ha	1,880ha	890ha	340ha	410ha		
進捗	53%	79%	88%	100%		
■農業用施設 ※2	<b>本復旧</b>					
排水機場：27施設	2施設	11施設	13施設	1施設		
進捗	7%	48%	96%	100%		
■農地海岸	<b>本復旧</b>					
農地海岸：23海岸	1箇所	15箇所	0箇所	7箇所		
進捗	4%	70%	70%	100%		
■農山漁村地域復興基盤総合整備事業 ※3	<b>本復旧（土地利用の整序化含む）</b>					
面積：(210ha)	(80ha)※4	130ha	80ha			
進捗	0%	0%	62%	100%		

### ■管内の主な復旧状況



※ 東日本大震災に係る農地・農業用施設等の復旧復興のロードマップ見直しについて(H25. 2. 8公表)の管内分を表記しています。

※1 農地復旧面積には自力復旧、復興事業による転用などの面積を含む。

※2 農業用施設については受益面積10ha以上の排水機場とし、国が直轄で行う2地区(河南地区、定川地区)を除く。

※3 農山漁村地域復興基盤総合整備事業の面積は、新規地区として大区画整備を行う面積で農地復旧面積の内数としている。

また、同事業面積は現在調査中の地域もあり、変更の可能性がある。



## 「石巻圏域の農業農村整備2013-2014」を作成しました

当事務所では2年毎に、「石巻圏域の農業農村整備」と題し、管内の農村整備事業等を紹介したパンフレットを作成しています。今年度は、2013・2014年度のパンフレットを作成し、発行することとなりました。

今回のパンフレットでは、東日本大震災に関する内容を追加しました。東日本大震災の農地・農業用施設等の被害概要や復旧・復興の概要、復興の工程と進捗状況等の内容を記載しています。また、農地災害復旧事業の施工年次計画の位置図も追加しました。



各関係機関に配布しますが、追加で必要な場合等は当部までご連絡ください。



## ごはん茶碗一杯分の価格は??

## プチコラム

前回のプチコラムでは、「ごはん茶碗一杯分は稲の何株分??」という質問について検証してみました。今回は、再び「ごはん茶碗一杯」に着目し茶碗一杯分の価格について検証してみます。

「社団法人米穀安定供給価格支援機構」によりますと、仙台市における平成25年1月現在のコシヒカリの小売価格は、5kg精米袋入りで平均2,360円となっています。

前回は、茶碗一杯にはお米が75g入っているという前提で検証しました。同じ前提で計算しますと、ごはん茶碗一杯は約35円ということになりそうです。

めだかのすめる たんぼ づくりをめざして



宮城県東部地方振興事務所 農業農村整備部  
(編集：農村振興班)

〒986-0812 石巻市東中里1丁目4-32  
Tel 0225(95)1411 (内) 489 Fax 0225(96)4880  
E-mail et-ss-nos@pref.miyagi.jp  
URL <http://www.pref.miyagi.jp/et-sgsin/nn/nn-top.htm>

